

**33 号館 OSE センター  
(OSEC)  
利用手引き  
【クライアントシステム】**

第 1.1 版

---

2023 年 10 月 13 日  
KUDOS 学生センター

---

## 更新履歴

版数	更新日	更新内容
1.0 版	2019.9.12	初版
1.1 版	2023.10.13	部署名変更【総合情報システム】⇒【KUDOS 学生センター】

# 目次

目次.....	1
<b>1 33号館 OSE センター(OSEC)概要 .....</b>	<b>3</b>
1.1 教室概要.....	3
1.1.1 教室内レイアウト図 .....	3
1.1.2 設置機器.....	4
1.1.3 機器名称.....	4
<b>2 コンピュータの利用方法 .....</b>	<b>5</b>
2.1 Windows の利用方法.....	5
2.1.1 起動方法(サインイン).....	5
2.1.2 終了方法(サインアウト).....	7
2.2 Scientific Linux の利用方法.....	8
2.2.1 起動方法(ログイン).....	8
2.2.2 終了方法(シャットダウン).....	10
2.3 利用できるソフトウェア.....	10
2.4 利用できるドライブ・ファイルサーバ.....	11
2.4.1 Windows.....	11
2.4.2 Scientific Linux.....	12
<b>3 プリンタ、プロッタ、スキャナの利用方法.....</b>	<b>13</b>
3.1 KUDOS Print に対応したプリンタの利用 .....	13
3.1.1 KUDOS Print に対応したプリンター一覧.....	14
3.1.2 KUDOS Print 対応プリンタ割振りレイアウト図.....	15
3.2 スキャナの利用 .....	16
3.3 プロッタの利用 .....	16
3.3.1 利用開始時の手順 .....	16
3.3.2 印刷方法.....	16
3.3.3 利用終了時の手順 .....	16
<b>4 周辺機器の利用方法 .....</b>	<b>17</b>
4.1 USB メモリの利用【Windows】.....	17
4.1.1 USB メモリの認識.....	17
4.1.2 USB メモリの取り外し .....	17
4.2 USB メモリの利用【Scientific Linux】.....	18
4.2.1 Scientific Linux から Windows へのデータ交換.....	18
4.3 DVD スーパーマルチドライブの利用【Windows】.....	19
4.3.1 USB メモリのようにデータを追加したり削除したりできる書き込み方法.....	19
4.3.2 CD/DVD プレイヤーでの再生に適した書き込み方法.....	21
4.4 DVD スーパーマルチドライブの利用【Scientific Linux】.....	23
<b>5 情報コンセント(有線 LAN)の利用.....</b>	<b>24</b>

5.1 情報コンセント(有線 LAN)での接続 .....	24
5.1.1 情報コンセントへの接続 .....	24
<b>6 補足資料 .....</b>	<b>25</b>
6.1 機器一覧 .....	25

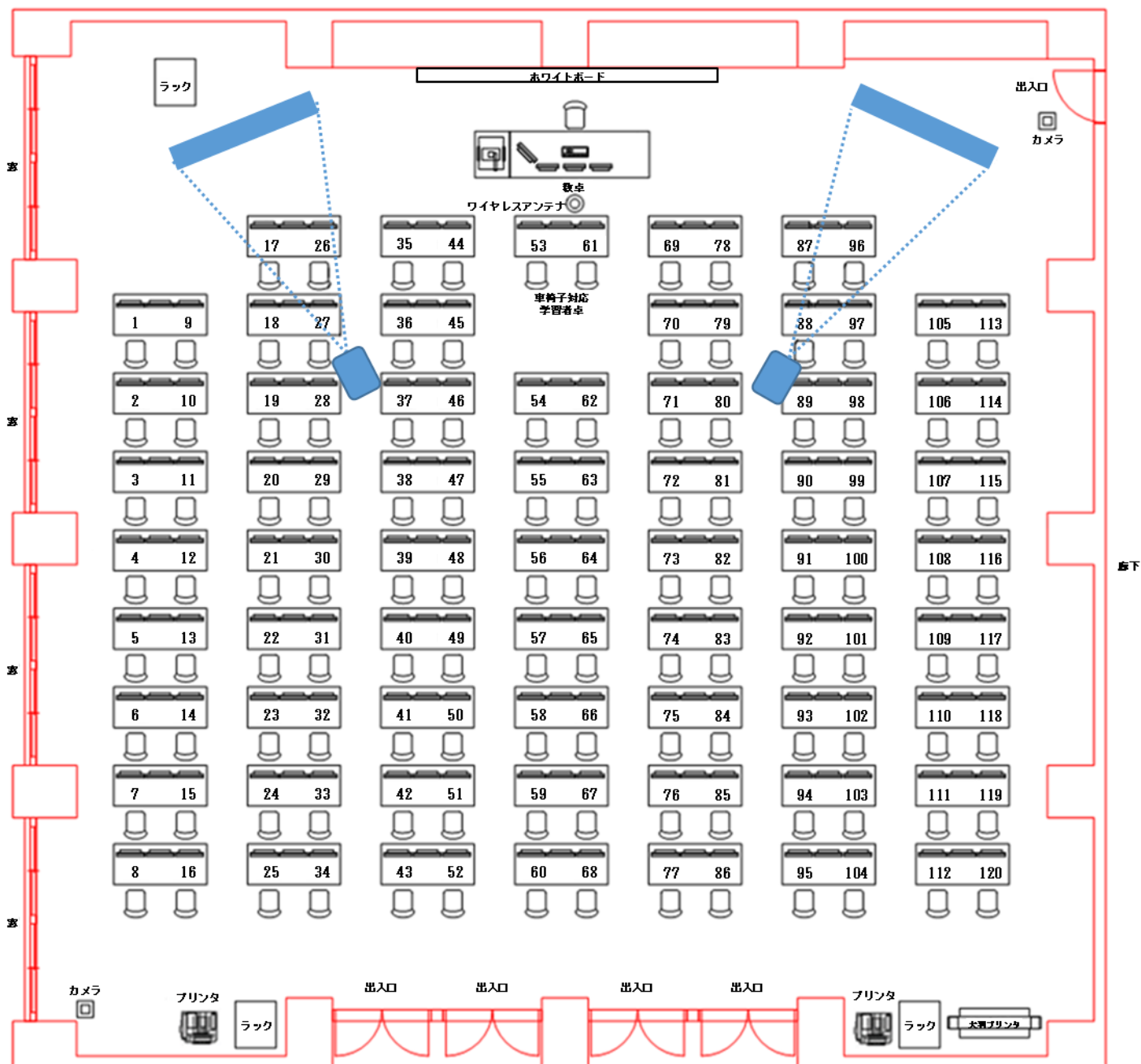
# 1 33号館 OSE センター (OSEC) 概要

## 1.1 教室概要

### 1.1.1 教室内レイアウト図

教室のフロア図は次のとおりです。

(デスクトップ PC : 121 台 (教員機 : 1 台、学生機 : 120 台) )



### 1.1.2 設置機器

設置機器の詳細については、「6.1 機器一覧」をご覧ください。

### 1.1.3 機器名称

#### ESPRIMO D588/T



## 2 コンピュータの利用方法

### ご利用可能な OS について

2019 年 9 月現在におきまして、教室に導入されている OS は以下となっております。

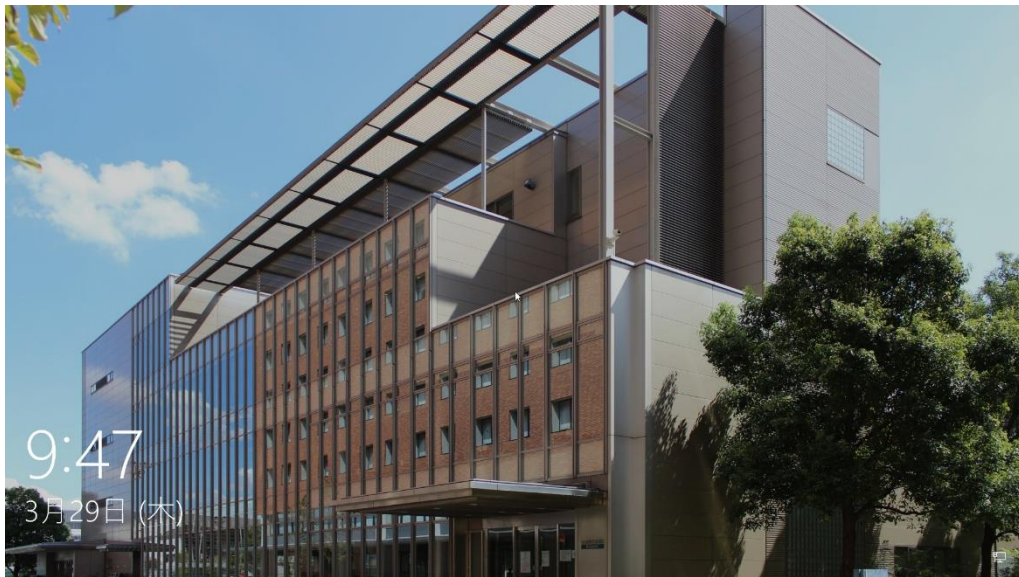
**【OSE センター】**


- Windows 10 Education
- Scientific Linux 6.9 (Windows OS 上で Virtual Box 仮想環境により提供)

## 2.1 Windows の利用方法

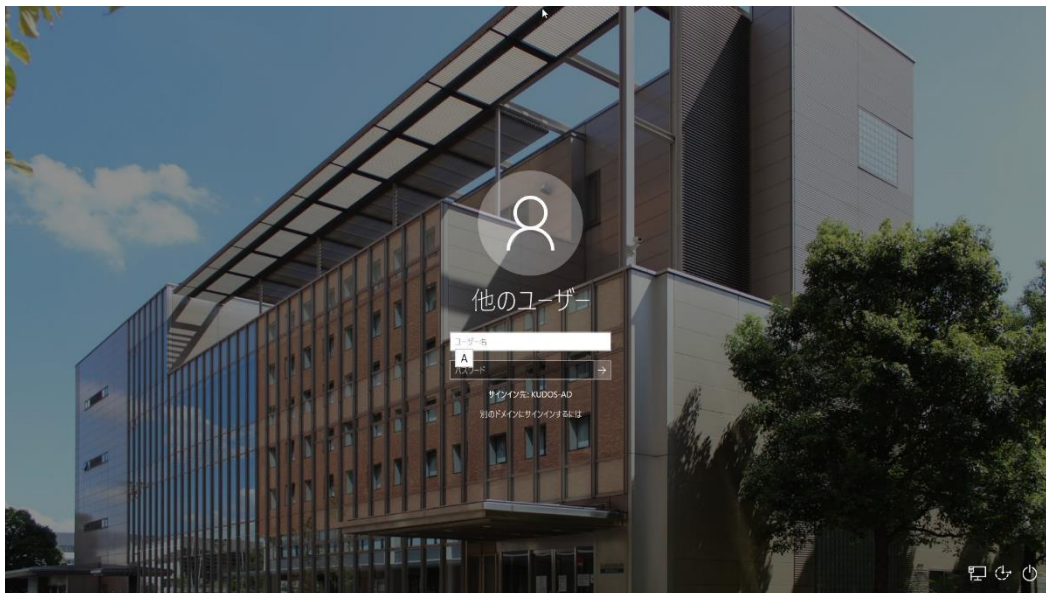
### 2.1.1 起動方法 (サインイン)

1. キーボードを押すか、もしくはマウスをクリックします。

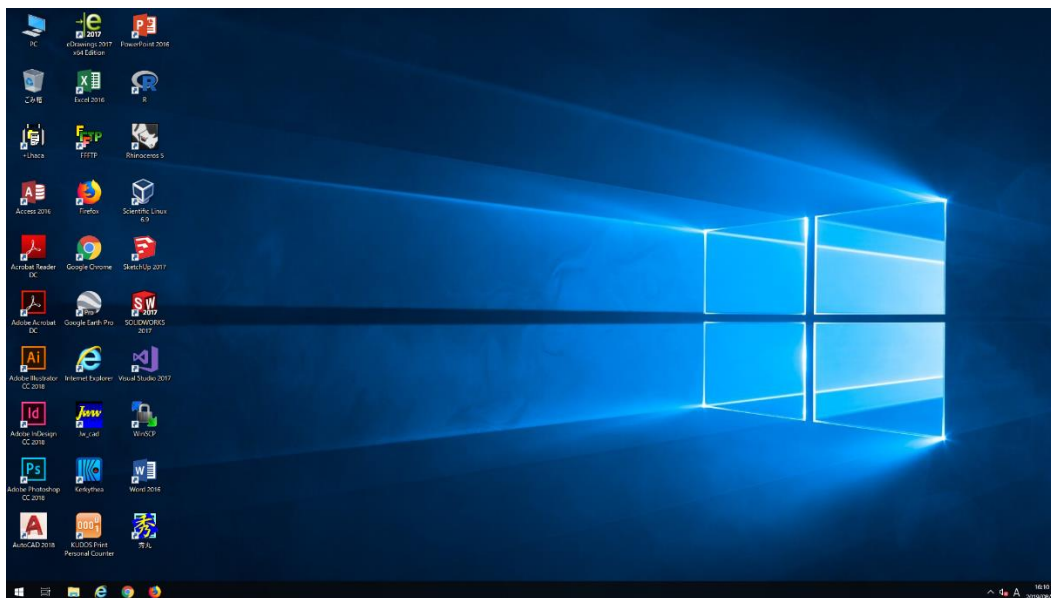


2. KUDOS 発行のユーザーID（教育系・事務系） とパスワードを入力し、 ボタンをクリックします。

※コンピュータを利用するにはログオン（サインイン）する必要があります。  
KUDOS 発行のユーザーID（教育系・事務系）とパスワードを入力し、サインイン先として「KUDOS-AD」が選択されていることを確認しサインインしてください。  
※教員用コンピュータは、教員権限のあるユーザーのみサインインできます。



3. コンピュータにサインインすると、全ユーザー共通で下図のようなデスクトップ環境が利用できます。





**!** 注意

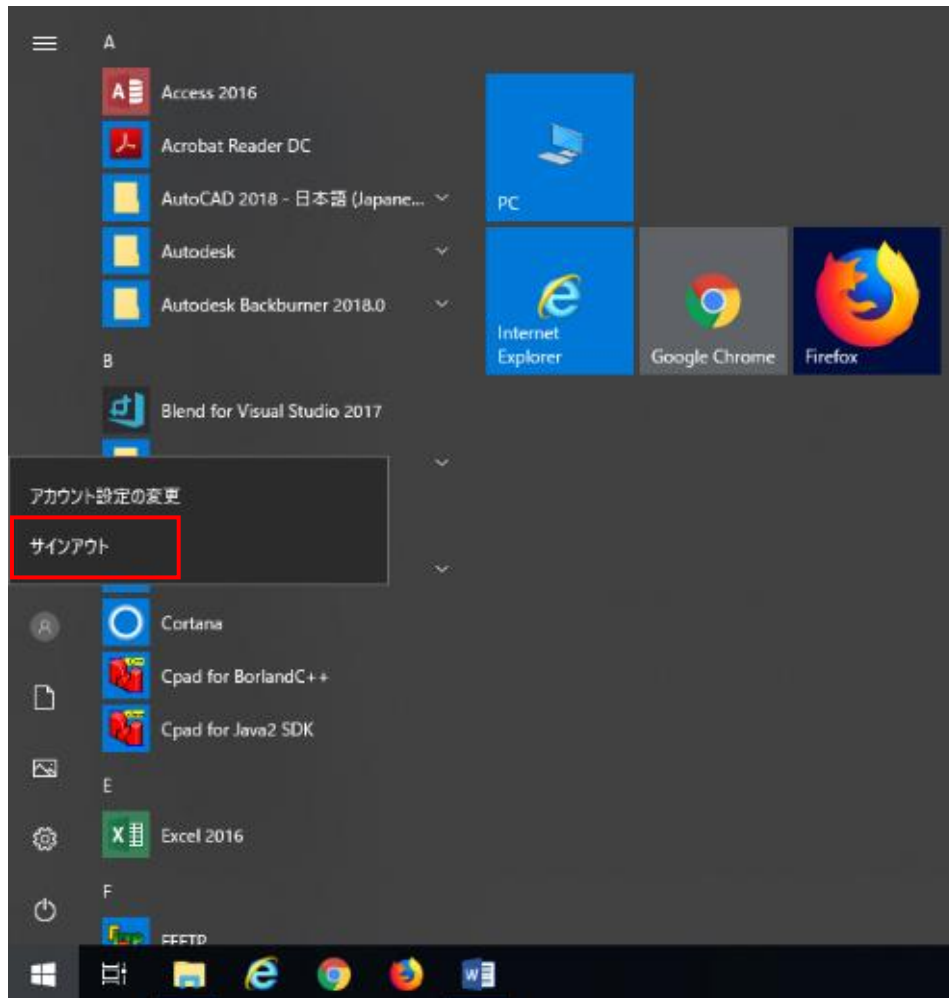
ユーザー名とパスワードの入力を 20 回以上間違えると、ロックがかかります。  
数分間サインインできなくなりますので、ご注意ください。



## 2.1.2 終了方法（サインアウト）

コンピュータを終了するにはログオフ（サインアウト）する必要があります。

1. [スタート]ボタン  をクリックします。
2. ユーザーアイコン  をクリックし、[サインアウト]ボタンをクリックします。



### ! 注意

コンピュータ利用後は「シャットダウン」せずに「ログオフ（サインアウト）」をしてください。

デスクトップに保存されたファイルは、コンピュータを再起動すると消去されます。

ドキュメントに保存されたファイルも同様にコンピュータを再起動すると消去されます。

必要なデータは、Z ドライブ(全学ファイルサーバ) または Google ドライブや KUDOS BASKET 等に保存したことを今一度ご確認ください。

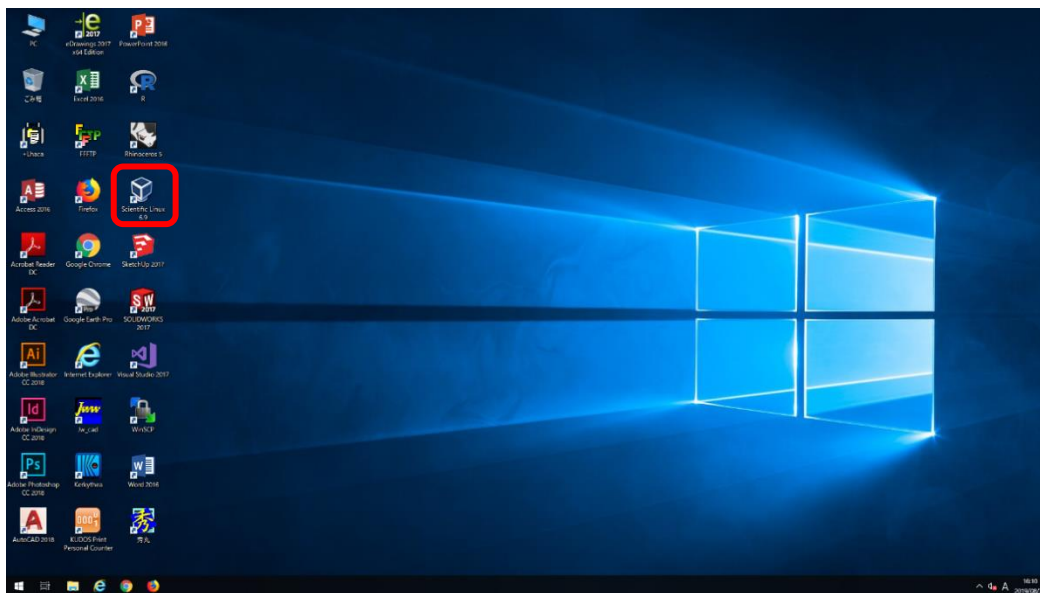
※Z ドライブは一人あたり 500MB です(2019年9月12日現在)。

## 2.2 Scientific Linux の利用方法

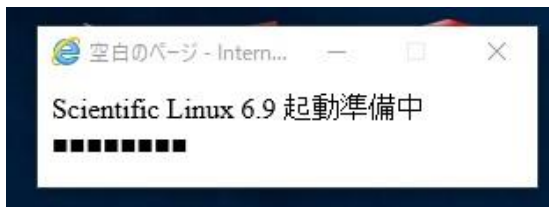
Scientific Linux は Windows OS 上で Virtual Box 仮想環境により提供されます。

### 2.2.1 起動方法（ログイン）

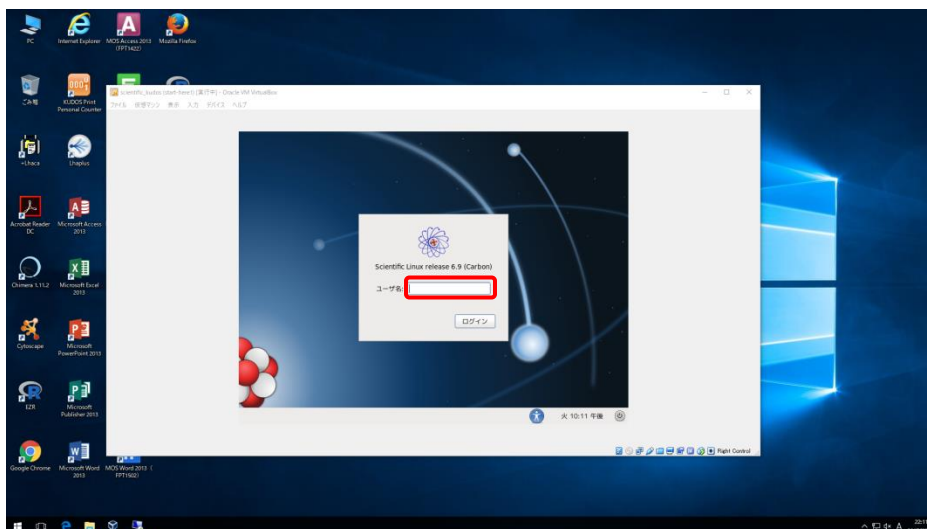
1. デスクトップの「Scientific Linux 6.9」をダブルクリックします。



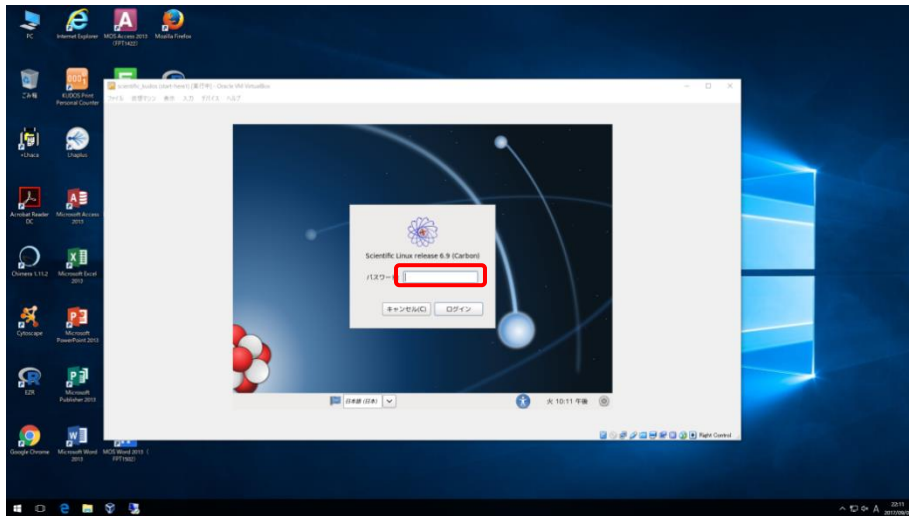
2. 画面に起動中のメッセージが表示されます。



3. Virtual Box 仮想環境上の Scientific Linux が起動しますので、KUDOS 発行のユーザーID（教育系のみ）を入力し、ログインをクリックしてください。



## 4. パスワードを入力し、ログインをクリックしてください。


**ポイント**

Scientific Linux にログインすると以下のリモートドライブが利用できます

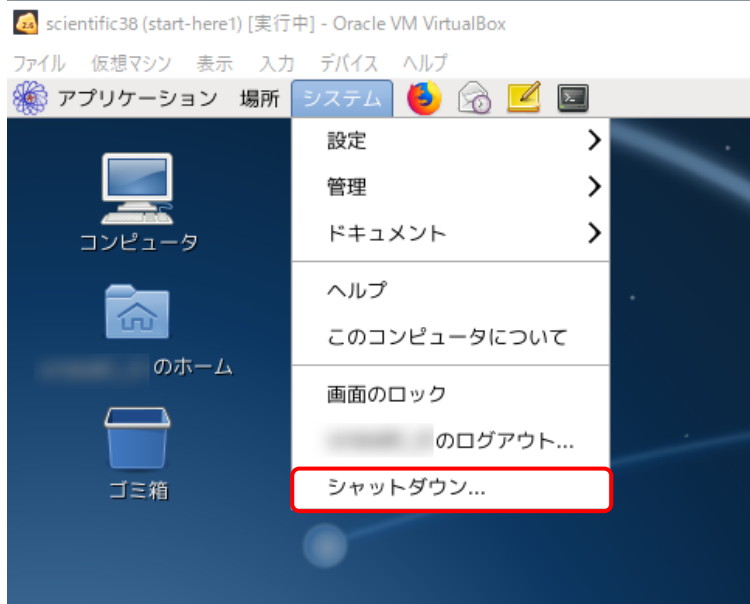
ホームディレクトリ ※	/home/linuxfs/[ユーザーID]
共有領域	/home/linuxfs/learning

※ ホームディレクトリは「/home/linuxfs/scientific38/[ユーザーID]」となります。

※ KUDOS 多目的演習室 3 において Scientific Linux を利用する際のホームディレクトリとは異なります。

## 2.2.2 終了方法（シャットダウン）

1. メニューの「システム」より「シャットダウン」をクリックします。



2. 「このシステムを今すぐシャットダウンしますか？」と表示されるので「シャットダウン」をクリックします。シャットダウン完了後に Virtual Box 仮想環境上の Scientific Linux が終了します。



## 2.3 利用できるソフトウェア

アプリケーションを起動するには以下の2通りの方法があります。

- ◆ デスクトップのアイコンをダブルクリック
- ◆ スタートメニューのアイコンをクリック

※最新の状況については、KUDOS WEB サイト「ソフトウェア・ハードウェア検索」  
(<https://kudos.kindai.ac.jp/guide/sh>)

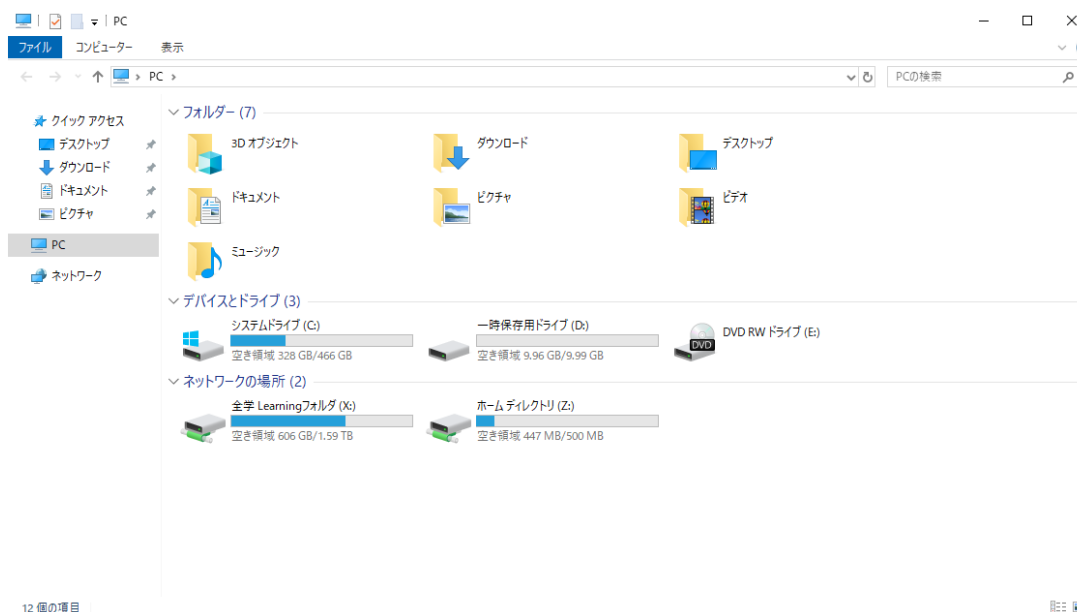
もしくは、KUDOS の公式スマートフォンアプリ「KUDOS APP」よりご確認ください。  
(<https://kudos.kindai.ac.jp/app>)

## 2.4 利用できるドライブ・ファイルサーバ

コンピュータにログオンすると全ユーザー共通で、ドライブ・ファイルサーバが利用できます。教室内のコンピュータで作成したファイルなどのデータはXドライブ、Zドライブなどの全学ファイルサーバへ保存するか、Google ドライブやKUDOS BASKET などへ保存してください。

### 2.4.1 Windows

コンピュータにログオンすると、以下のローカルディスク、ネットワークドライブが利用できます。



C: ドライブ	OS・アプリケーションのためのシステムドライブです。 このドライブへの変更（ファイルの追加・削除・変更）はコンピュータを再起動すると全て破棄されます。
D: ドライブ	一時保存用のローカルハードディスクです。 このドライブへの変更はコンピュータを再起動しても削除されませんが、1週間に1回月曜日にフォーマットされます。 ここへファイルを保存する場合は注意してください。
E: ドライブ	CD-R/RW、DVD±R/RW、DVD-RAM が利用できるスーパーマルチドライブです。
F: ドライブ～W: ドライブ	カードリーダーライター※が自動的に割り当てられます。 ※メモリカードリーダーライターは貸出になります。
X: ドライブ	全学ファイルサーバの共有領域 Learning ディレクトリです。 教材提示・レポート提出などに利用できます。 ご利用に関しては教室授業担当員に確認してください。
Z: ドライブ	全学ファイルサーバの個人用ホームディレクトリです。 必要なファイルは、ここに保存して下さい。 (2019年9月12日現在、容量500MB)

※カードリーダーライターについては教室スタッフにて貸出し対応となります。



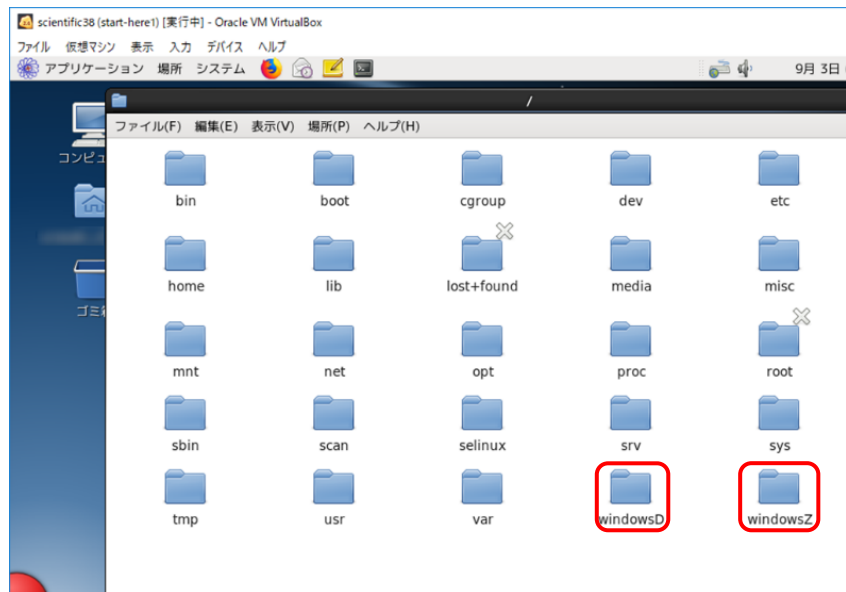
注意

Cドライブ（デスクトップ・ドキュメントフォルダも含まれます）に保存されたファイルはコンピュータを再起動すると消去されます。Dドライブに保存したファイルは1週間ごとに消去されます。

※C・Dドライブに保存されたデータに関しては保証いたしかねますのでご注意ください。

## 2.4.2 Scientific Linux

コンピュータにログオンすると全ユーザー共通で、以下に示すとおり、ローカルディスク、ネットワークドライブが利用できます。



windowsZ ドライブ ※	全学ファイルサーバの個人用ホームディレクトリです。 必要なファイルは、ここに保存してください。 (2019年9月12日現在、500MB)
windowsD ドライブ ※	Windowsの一時保存用ドライブ (D:) です。 再起動を行ってもデータは消えませんが毎週月曜日早朝に すべて削除されます。
共有ディレクトリ (Learning)	/home/linuxfs/learning

※Windows上のZドライブと、Dドライブとなります。

## 3 プリンタ、プロッタ、スキャナの利用方法

OSE センターには、KUDOS Print に対応したプリンタが設置されています。

授業中はポイントを消費せず印刷できますが、自由利用時ではポイントを消費して印刷する必要があります。

スキャナの機能は、どちらのプリンタでも利用可能です。

また、A1 用紙など大判用紙に対応したプロッタが設置されております。

プロッタは KUDOS Print に対応しておらず、通常のプリンタとして使用できます。

### 3.1 KUDOS Print に対応したプリンタの利用

KUDOS Print に対応したプリンタが設置されている教室では、時間帯別に以下のモードが設定されています。

No	モード名称	説明
1	ポイントモード	<p>自由利用となっている教室に設定されているモードです。 ポイントモードでは印刷を行うとプリント実績値が加算されます。</p> <p>プリント実績値がプリント上限値に達している場合や、プリント上限値を超えるような印刷を行おうとした場合、そのままでは印刷できませんのでポイントを別途購入する必要があります。</p> <p>プリント実績値とは：「どれだけ印刷したか」を示す値です。 プリント上限値とは：「どれだけ印刷できるか」を示す値です。</p>
2	授業モード	<p>授業中の教室に設定されているモードです。 授業モードでは印刷を行ってもプリント実績値が加算されることはありません。</p> <p>また、プリント実績値がプリント上限値を超過していても印刷できます。</p>

※Windows のデフォルト印刷カラーは白黒です。適宜手動で変更してください。

※Linux のデフォルト印刷カラーは自動判別です。

デフォルト印刷カラーに気を付けて、印刷をお願いします。

※詳細は KUDOS WEB の KUDOS Print 説明ページより「KUDOS Print マニュアル(PC 教室)利用マニュアル」をご参照ください。 (<https://kudos.kindai.ac.jp/service/print/pcroom>)

### 3.1.1 KUDOS Print に対応したプリンター一覧

ユーザーの「通常使うプリンタ」はコンピュータの場所によって自動的に割り振られます。「通常使うプリンタ」が何らかの障害で利用できないときは、印刷時に別のプリンタを指定してください。

#### 【プリンター一覧 (Windows)】

教室名	装置名	号機	プリンタ名
OSE センター	プリンタ	1 号機	33 号館_OSEC_1 号機
			33 号館_OSEC_1 号機(予備)
		2 号機	33 号館_OSEC_2 号機
			33 号館_OSEC_2 号機(予備)
	プロッタ	—	FUJI XEROX DocuWide 3037 ※

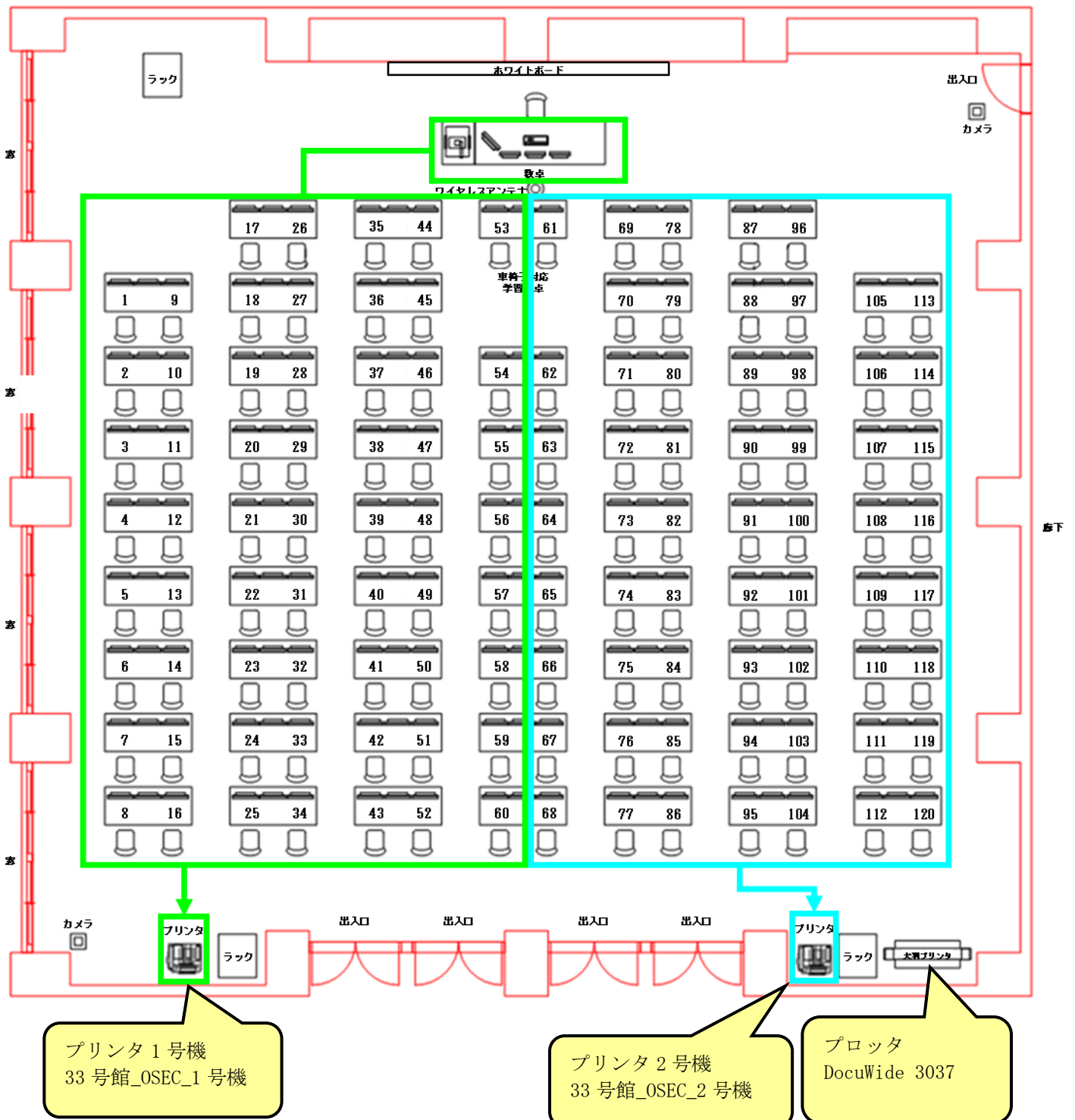
※プロッタは KUDOS Print 非対応。詳細は「3.3 プロッタの利用」参照。

#### 【プリンター一覧 (Scientific Linux)】

教室名	装置名	号機	プリンタ名
OSE センター	プリンタ	1 号機	MF330SEC001_No1_A3
			MF330SEC001_No1_A4
			MF330SEC001_No1_B4
			MF330SEC001_No1_B5
			MF330SEC001_No1 (sub)_A3
			MF330SEC001_No1 (sub)_A4
			MF330SEC001_No1 (sub)_B4
			MF330SEC001_No1 (sub)_B5
		2 号機	MF330SEC002_No2_A3
			MF330SEC002_No2_A4
			MF330SEC002_No2_B4
			MF330SEC002_No2_B5
			MF330SEC002_No2 (sub)_A3
			MF330SEC002_No2 (sub)_A4
			MF330SEC002_No2 (sub)_B4
			MF330SEC002_No2 (sub)_B5



3.1.2 KUDOS Print 対応プリンタ割振りレイアウト図





## 4 周辺機器の利用方法

### USBメモリ、SDカード・CD-Rなどの記憶媒体の取り扱いについて

USBメモリ、SDカード等の可搬型の記憶装置の使用は、ウイルス混入・感染及び紛失のリスクが高いため、個人情報を含む機密性の高いデータの取り扱いを禁止します。

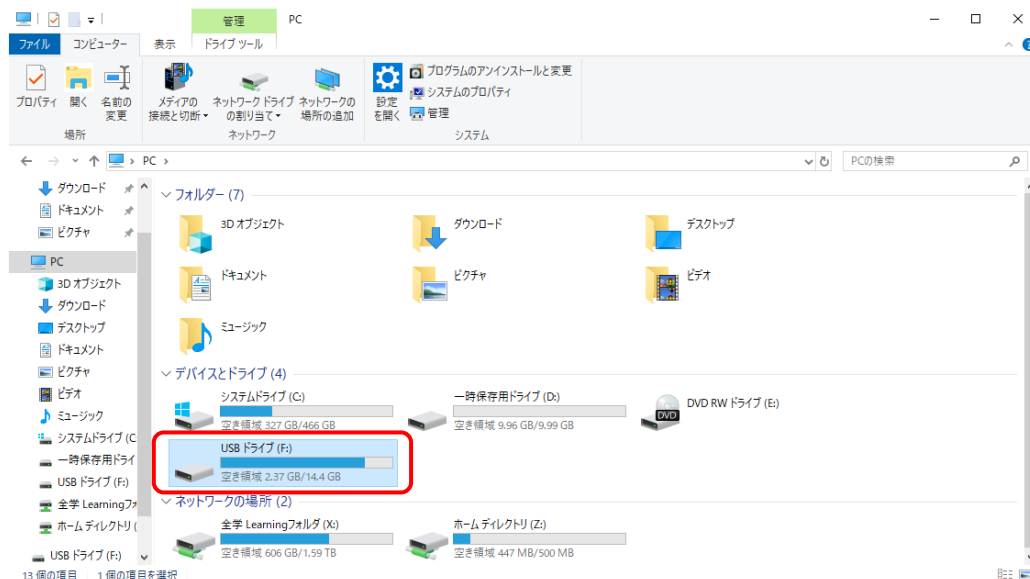
情報機器間でのデータのやり取りを行う場合、2段階認証（多要素認証）設定済みアカウントにて、GoogleドライブやSlack、KUDOS BASKET等を利用してください。

※詳細は「学校法人近畿大学 情報システム利用ガイドライン（8条10項）」をご参照ください。  
[https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual\\_3\\_14.pdf](https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual_3_14.pdf)

## 4.1 USBメモリの利用【Windows】



### 4.1.1 USBメモリの認識

1. USBメモリをUSBポートに差し込みます。
2. 「コンピュータ」の「デバイスとドライブ」に「USBドライブ」が表示され、USBメモリが利用できます。



### 4.1.2 USBメモリの取り外し

USBメモリの利用を終了してコンピュータから取り外す場合は、次の手順で操作します。

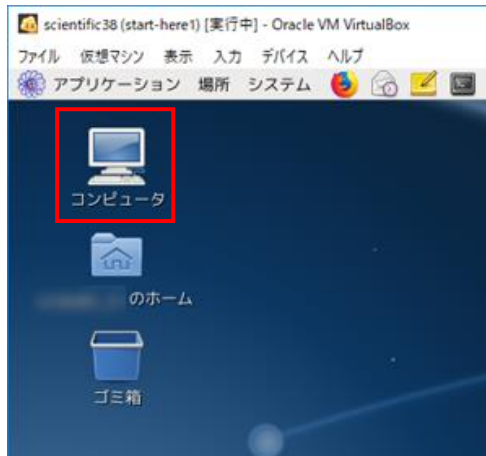
1. USBメモリを参照しているウィンドウをすべて終了します。
2. タスクバー右端のタスクトレイ表示部分の  をクリックし、 をクリックします。
3. 「○○の取り出し」をクリックします。  
「○○」にはUSBメモリの名称が入ります。
4. コンピュータ本体からUSBメモリを取り外します。

## 4.2 USBメモリの利用【Scientific Linux】

Virtual Box 仮想環境上の Scientific Linux では、直接 USB メモリへのデータの書き込みや、読み出し、及び CD-R/DVD-R メディアへの書き込みが行えません。そのため、以下の手順により Windows を経由してのデータ交換を行ってください。

### 4.2.1 Scientific Linux から Windows へのデータ交換

1. Linux OS にログインし、デスクトップ上の「コンピュータ」をダブルクリックします。



2. 「ファイルシステム」 → 「windowsD(または Z)」の順に選択します。  
※例では「windowsD」を選択しています。



windowsD(または Z)に作成されたファイルは、Scientific Linux と Windows の間で共有することができます。

windowsD、及び windowsZ の関連付けは以下の通りです。

Scientific Linux	Windows
windowsD	D : ドライブ
windowsZ	Z : ドライブ

3. 「4.1 USBメモリの利用【Windows】」を参照し、Windows の D ドライブ (又は Z ドライブ) からデータを USB メモリに移してください。

## 4.3 DVD スーパーマルチドライブの利用【Windows】

コンピュータに内蔵されているオプティカルドライブはDVD スーパーマルチドライブとなっており、CD-ROM/R/RW、DVD±R/RW、DVD-RAM、DVD±R（2層）が利用できます。

本体の左方の「EJECT」ボタンを押し、メディアを挿入ください。

データ書き込み可能な空のディスクがあれば、データを書き込むことができます。

書き込み方法は、「4.3.1章」及び、「4.3.2章」に記載の2通りの方法があります。

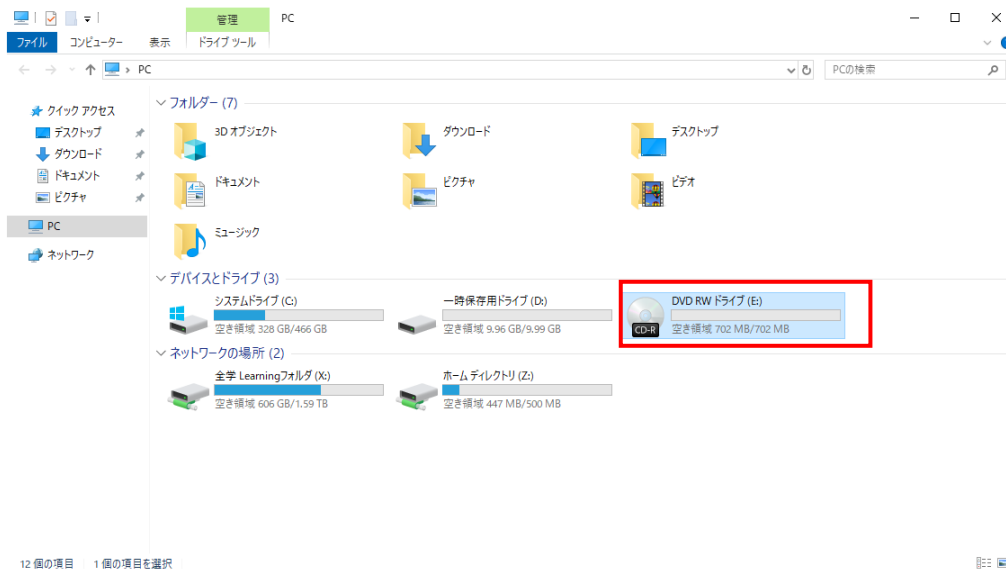
### 4.3.1 USB メモリのようにデータを追加したり削除したりできる書き込み方法

USB フラッシュドライブやフロッピーディスクと同じように、データを追加したり削除したりすることができます。

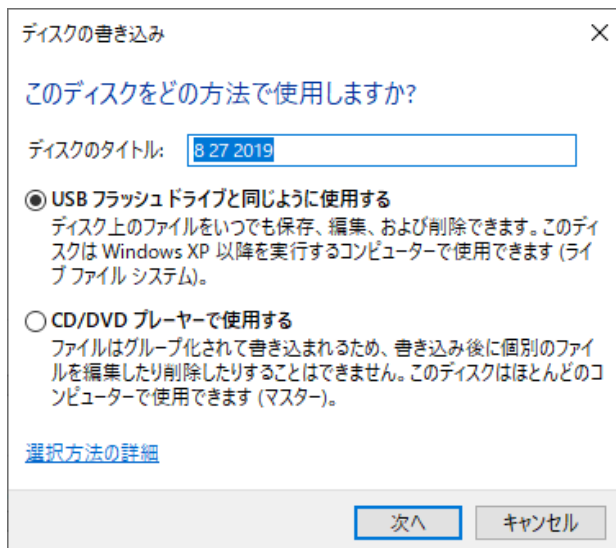
Windows PCであれば、他のPCでも読み書きができます。

#### 【ディスクのフォーマット】

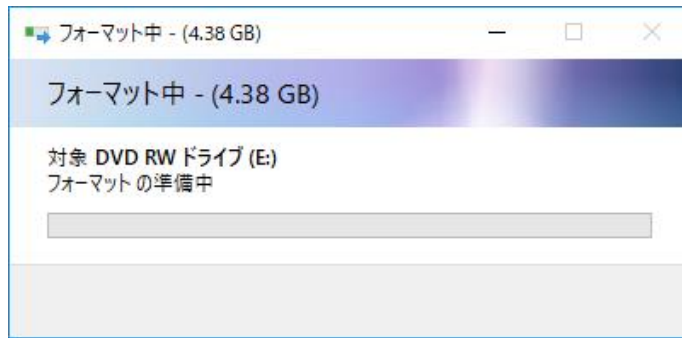
1. DVDドライブへブランクのディスクを挿入します。
2. 「PC」のデバイスとドライブより、DVD RWドライブ(E:)をダブルクリックします。



3. 「ディスクの書き込み」が表示されますので、ディスクのタイトルを入力し、「USBフラッシュドライブと同じように使用する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

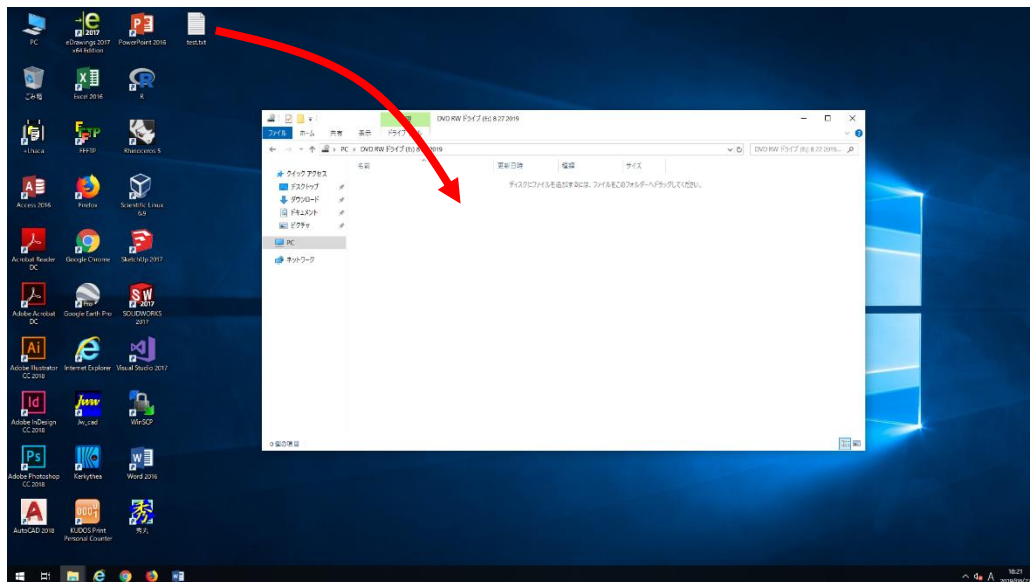


4. フォーマットが開始されます。終了するまで待ちます。



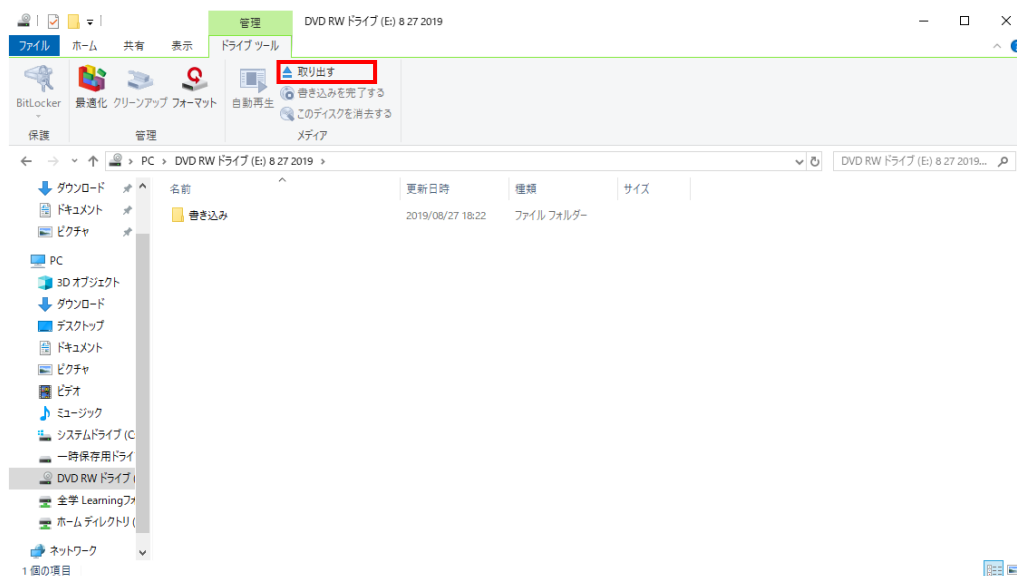
**【データの書き込み】**

5. DVD RW ドライブ (E:) をダブルクリックし、書き込むファイルをエクスプローラーの DVD ドライブにドラッグ&ドロップします。  
(コピー、貼り付けでもかまいません。)



**【取り出し】**

6. 「管理」をクリックし、「取り出す」をクリックし、メディアを取り出します。

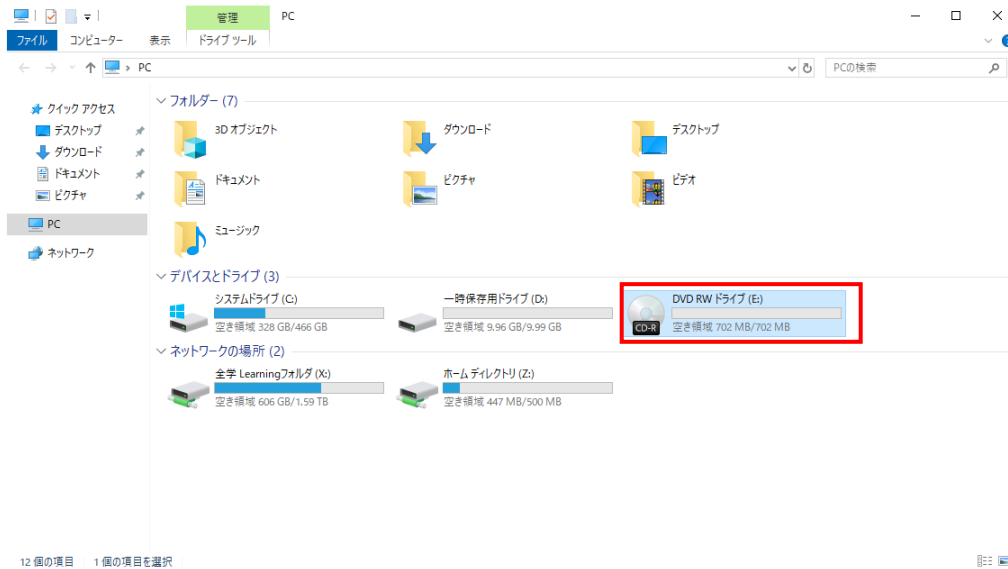


### 4.3.2 CD/DVD プレイヤーでの再生に適した書き込み方法

MacOS を含め、他のコンピュータで CD や DVD として利用できる書き込み方法です。ファイルはすぐにはコピーされません。一度にまとめて書き込みます。

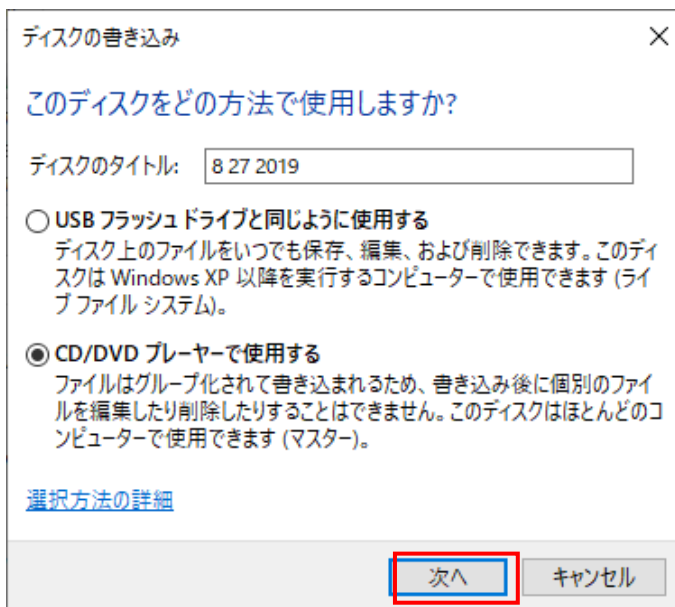
#### 【ディスクの挿入】

1. DVD ドライブへブランクのディスクを挿入します。
2. 「PC」のデバイスとドライブより、DVD RW ドライブ (E:) をダブルクリックします。



#### 【データの書き込み】

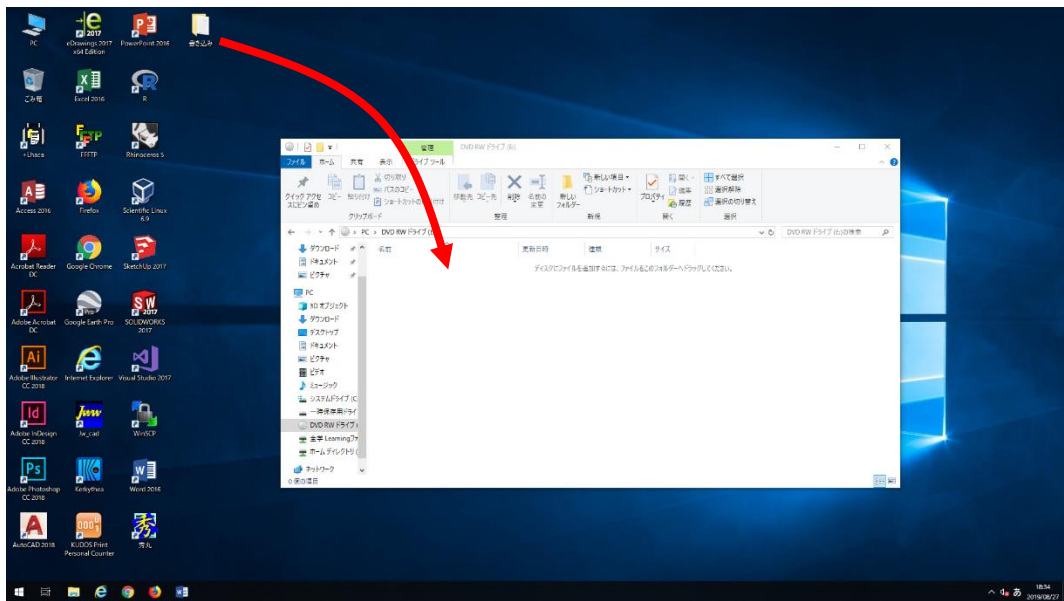
3. 「ディスクの書き込み」が表示されますので、「CD/DVD プレイヤーで使用する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



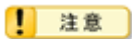
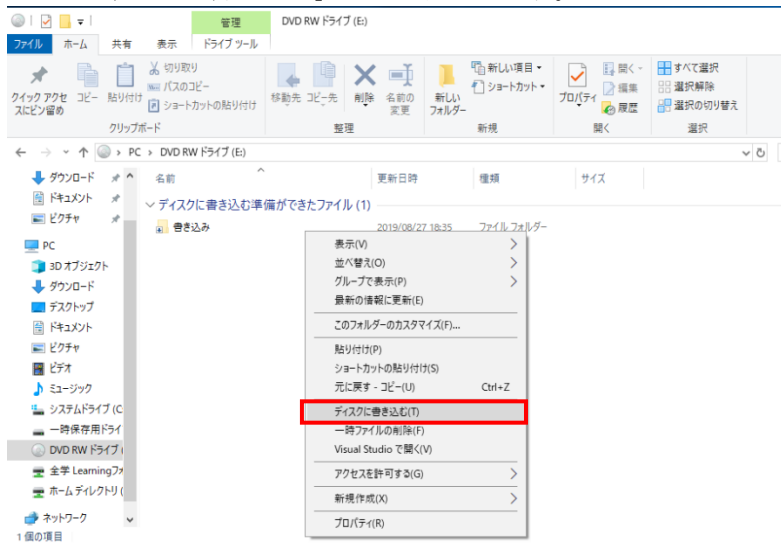
4. ドライブが表示されます。



- 書き込むファイルをエクスプローラーの DVD ドライブにドラッグ&ドロップします。  
(コピー、貼り付けでもかまいません。)



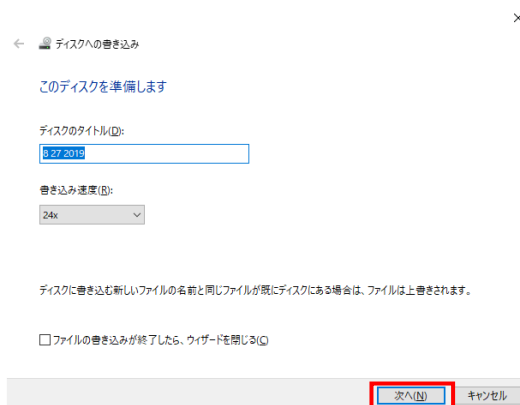
- 書き込むファイルをすべて DVD ドライブへドロップしたら、マウスの右クリックを押し、「ディスクに書き込む」をクリックします。



注意

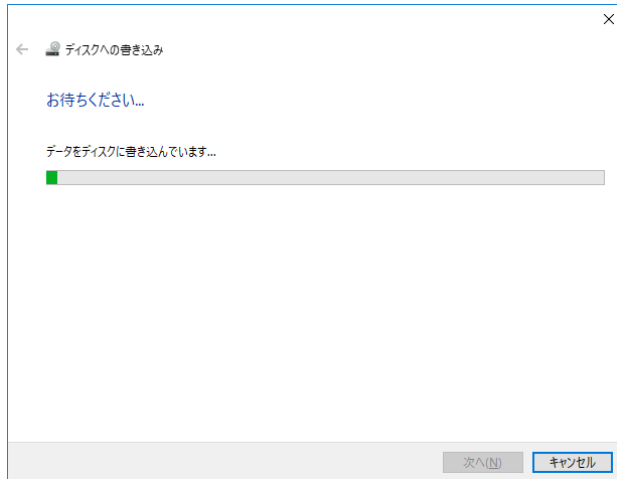
「ディスクに書き込む」を実行しないと、実際にディスクに書き込まれません。

- 「ディスクへの書き込みウィザード」が開始されますので、ディスクタイトルを入力します。[次へ] ボタンをクリックします。

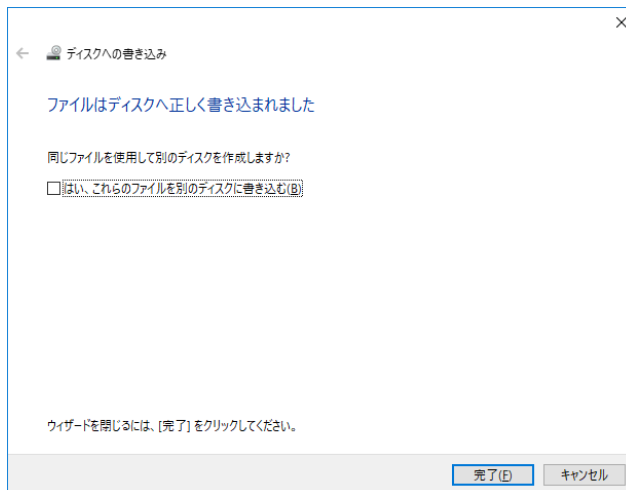




8. ディスクに書き込みが実行されます。終了するまで待ちます。



9. 完了するとディスクが排出されますので、[完了] ボタンをクリックします。  
※もう 1 枚のディスクに同じファイルを書き込む場合は、「はい、これらのファイルを別のディスクに書き込む」をチェックして [完了] ボタンをクリックしてウィザードを継続してください。



## 4.4 DVD スーパーマルチドライブの利用【Scientific Linux】

Scientific Linux では、直接 CD-R/DVD-R ディスクへの書き込みが行えません。  
(CD-ROM/DVD-ROM の読み込みのみ可能です)

「4.1 USB メモリ の利用【Windows】」 の手順と同様に Windows を経由してのデータ交換を行ってください。

## 5 情報コンセント（有線 LAN）の利用

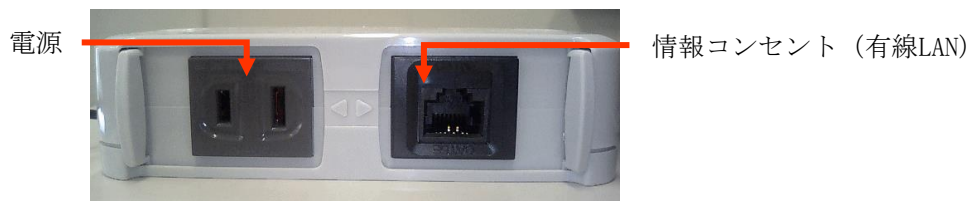
情報コンセントを利用すると、持ち込みコンピュータによる情報処理演習授業が可能となります。ネットワーク接続の認証が完了すると、学内・学外ネットワークが利用できます。

### 5.1 情報コンセント（有線 LAN）での接続

情報コンセント（有線 LAN）を利用して、個人持ち込みコンピュータを学内ネットワークに接続することができます。

#### 5.1.1 情報コンセントへの接続

1. 無線 LAN が利用できるコンピュータの場合は、無線 LAN の利用を無効にします。
2. LAN ケーブル（ストレート）で情報コンセントとコンピュータを接続します。







設定方法については、KUDOS WEB サイト「利用マニュアル」にて「有線 LAN 利用マニュアル（東大阪キャンパス）」よりご確認ください。

([https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual\\_70\\_1.pdf](https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual_70_1.pdf))


## 6 補足資料

### 6.1 機器一覧

OSE センターに設置されているコンピュータ環境は以下のとおりです。

機器	機種（型名）	台数	詳細	
学生用 コンピュータ	Fujitsu ESPRIMO D588/T	120 台	OS : Windows 10 Education (64bit) CPU : Corei3-8100 メモリ : 8GB HDD : 512GB SSD 光学ドライブ : DVD スーパーマルチ ドライブ モニタ : 23.8 型ワイドモニタ	
教員用 コンピュータ		1 台		
中間モニタ	IO データ LCD-AD211ESW	61 台	20.7 型ワイドモニタ	
プリンタ スキャナ	ApeosPort-VII C4473	2 台	カラーレーザープリンタ 用紙トレイ A5~A3 対応 自動両面原稿送り装置付フラット ベットカラーレスキャナ	
プロッタ	DocuWide 3037	1 台	モノクロプロッター 転写サイズ A4~A0 対応	

## ◆貸出物品

機器	機種 (型名)	台数	詳細	
ヘッドセット	-	10 個	ヘッドセット	
メモリカード リーダーライター	ADR-ML18BKN	10 台	xD ピクチャーカード・スマートメディア (3.3V) 対応スロット×1 SD メモリーカードスロット×1 microSD カード専用スロット×1 メモリースティック専用スロット×1 コンパクトフラッシュ (Type I) スロット×1	